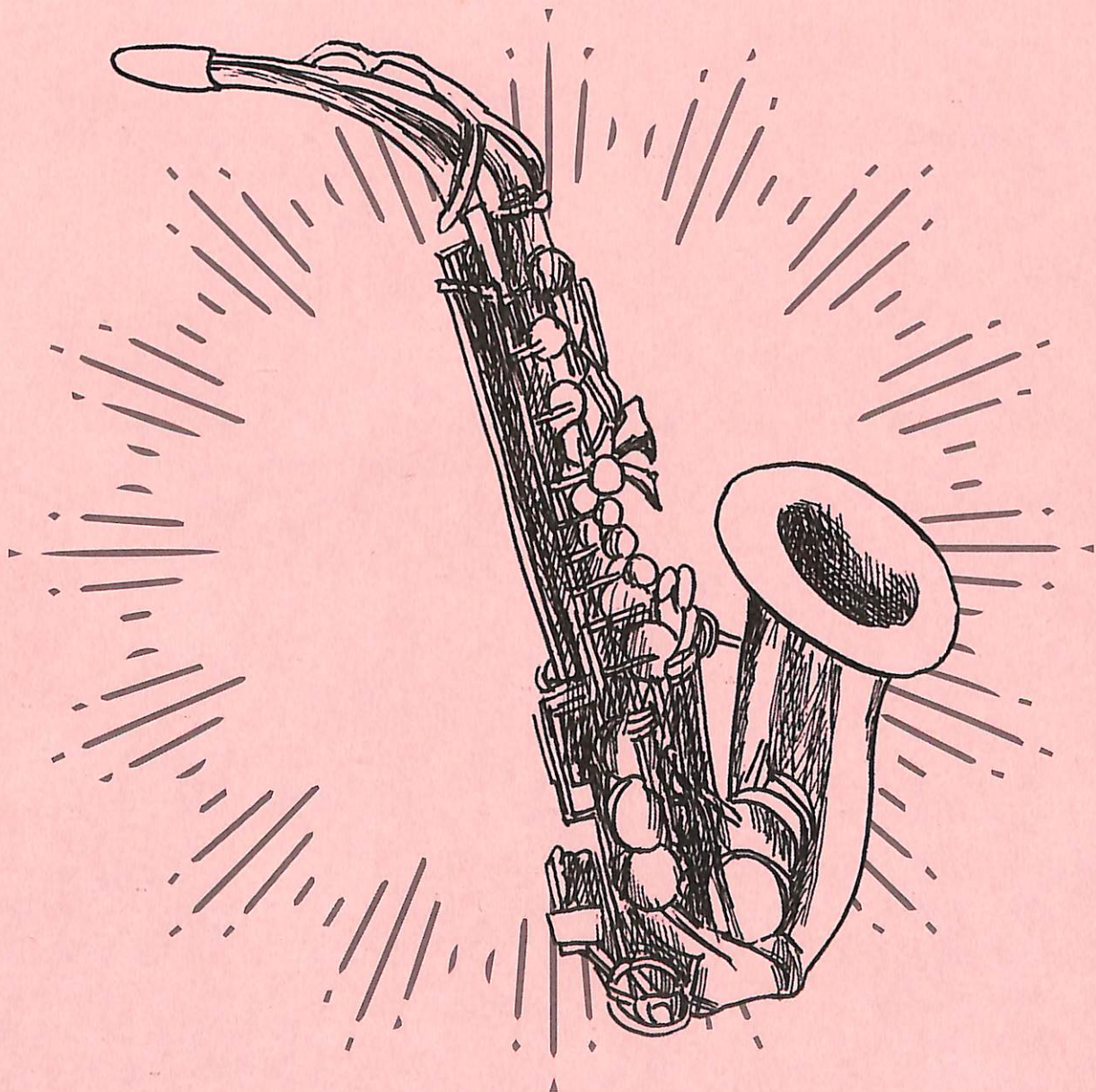


倉敷アカデミックウインズ

第27回定期演奏会

Kurashiki Academic Winds



2019年3月3日(sun)

開場 13:00 開演 13:30

倉敷市民会館 大ホール

受付にAMDAの募金箱を設置しています。何卒、皆様のご厚情を賜りますよう宜しくお願い致します。

member list

Conductor

高田 勲

Flute

♪ 赤澤麻祐子
池田 実加
小野 真穂
○ 藤巻奈緒子
南 恵梨
山崎 吏奈
☆ 横畑 春奈

Oboe

♪ 大月 美穂
白神 朋幸

Fagotto

塩谷 真歩
八木 好恵

Clarinet

◎ 安宅 忠司
♪ 関 文彰
野口 真由
☆ 野口 倫子
登尾 真衣
橋本 邦枝
山我 美羽
横山 弓子

Bass Clarinet

大野 晶子(スタッフ)
森 順子

Soprano & Alto Saxophone

井上 晃江

Alto Saxophone

堀田 萌衣
山口 晴加

Tenor Saxophone

稲田多美子
田淵 有美

Baritone Saxophone

☆ 門野 敏之
山我 和裕

Trumpet

☆ 宇野 綾花
☆ 唐井 靖恵
☆ 木梨美季絵
♪ 城水 圭介
城水 幸栄
● 中山 幸治
成山 恵子
☆ 藤原 裕之

Horn

河上 愛結
☆ 小山 紗和
妹尾 愛子
高岡真由美
橋本 健矢
花川 幸子

Trombone

石田絵璃佳
野口 真央
☆☆ 藤原 祐介
森本 祥行
☆ 吉田 杏子

Euphonium

越谷 萌菜
● 佐藤 裕史
佐藤友里加
妹尾 美子

Tuba

池田 護
朽木 陽一
☆ 横畑 郁乃

Percussion

♪ 河上真紀子
川口瑛理香(賛助)
藤澤 希実
溝上 洋介

(50音順)

● 副団長
◎ コンサートマスター
○ サブコンサートミストレス
♪ パートリーダー
☆☆ 定期演奏会実行委員長
☆ 定期演奏会実行委員

ごあいさつ

常任指揮者 **高田 勲**

定期演奏会実行委員長 **藤原 祐介**

本日は、ご来場いただき誠にありがとうございます。常任指揮者として一般吹奏楽団の練習や演奏会を通して大変だと思ふことは、ご家族のご理解ご協力を大前提にして音楽と仕事を両立させることです。本日の演奏会を開催できるのは、団員の音楽に対する情熱とご家族や職場の皆様のご支援の賜物です。厚く感謝申し上げます。

まもなく練習が終わろうとする時刻に、仕事で疲れているにもかかわらず、練習に駆けつける団員がいます。そのような姿を見ると、今日の練習でどれだけ音楽の喜びが共有できたかを反省するとともに、指揮者として責任の重さを感じます。また、練習しても仕事の都合で演奏会の達成感を味わえない団員もいます。その意味で、一般バンドは毎回の練習が命です。音楽する喜びや感動のある練習が活動の原点となり、その延長線上に演奏会があると思っています。

今回は、実行委員を中心に団員が一丸となり、日々の練習の積み重ねを大切にしたい定期演奏会を目指しました。熱い思いで大曲に挑戦したので、演奏するのも聴くのも(?)大変です。音楽の神様に「ポーッと演奏してんじゃねーよ」と叱られないように頑張りますので、最後まで応援よろしくお願い申し上げます。

本日は「倉敷アカデミックウインズ 第27回定期演奏会」にお越しいただき、誠にありがとうございます。

今年もこの倉敷市民会館で皆様にお会いできることを、団員一同心より楽しみに練習に励んでまいりました。

水島公民館でファーストコンサートを開いて、早いもので二十余年となります。「アカデミックサウンド」は、地域でも親しみを感じていただけるようになり、イベントにお招きいただく機会も増えました。団員確保や練習時間の調整など、その時々悩みや課題はありますが、メンバーの熱意を結集して乗り越え、味わいのある歴史を刻んでまいりたいと思います。

本日の演奏会では、ロビーコンサートを取りやめ、曲数を増やした三部構成でのプログラムとなっております。吹奏楽経験者の方が昔を懐かしむ曲から、皆様をご存知の曲まで、バリエーションに富んだ構成となっておりますので、どうぞ一緒に楽しみ下さい。

最後になりましたが、本日の演奏会の開催にあたり、惜しみないご協力をいただきました関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

司会進行：古田祐紀恵

ステージマネージャー：宗田隆幸

写真：石本 薫

受付：坂本香織

受付・舞台：井原吹奏楽団 メルヘンウインドアンサンブル

照明：有限会社 オールライツ

警備：株式会社 M・Kセキュリティー

協力：株式会社 中川楽器

印刷：有限会社 佐藤印刷所

協賛：倉敷市文化連盟

後援：倉敷市、倉敷市教育委員会、岡山県一般吹奏楽連盟、
FMくらしき、山陽新聞社



新団員募集中!!

倉敷アカデミックウインズでは新しい仲間を募集中です。吹奏楽経験のある方！一緒に音楽を楽しみましょう！まずは、一度私たちの練習に遊びに来てください。
倉敷アカデミックウインズホームページ/www.kaw.ne.jp

◆A.リード／序曲《春の猟犬》

19世紀末のイギリス詩人アルジャーソン・C・スウィンバーンが書いた詩劇『カリュドンのアタランタ』の中の合唱部分の一節に感動したA.リードが吹奏楽曲にしたのが、この序曲『春の猟犬』です。

日本の誇る文豪、夏目漱石もロンドン留学中にスウィンバーンの詩を研究していた逸話が残っています。リードもこの詩人が好きで、後に作曲した『交響的牧歌』にて彼の詩を取り上げました。「春の猟犬が冬の足跡をたどる頃 月の女神が牧場で草原の暗がりや 風吹く場所を葉音、雨音で満たす…」春という季節の若々しい恋を描いた魔法の絵。それを純粋な音楽で表現しようとしたと作曲者本人がコメントしています。若さ溢れ快活に春の気配に猟犬たちが喜び勇んで走るような印象を受ける部分と中間部で歌われる優しく甘い恋のテーマをお楽しみいただけたらと思います。

◆F.レハール／喜歌劇『メリー・ウイドウ』より《ヴィリアの歌》

舞台はパリ。喜歌劇『メリー・ウイドウ』は、夫の莫大な遺産を手にした美しき未亡人ハンナの恋をめぐる物語です。この《ヴィリアの歌》は第二幕の最初の方で歌われるアリアで、ハンナが豪邸での宴を故郷のポンテヴェドロ（仮想の国）風にあつらえて客たちに向かい情感たっぷりに歌います。懐かしい故郷の誰かが口ずさむ歌。それは森の妖精ヴィリアの歌。美しい妖精の恋の魔法にかかった狩人の叶わぬ恋の歌です。恋する男のこころを開こうとしてハンナが歌います。ハンナのアリアを本日は吹奏楽の編曲で演奏いたします。春の猟犬と同じ、リードの編曲でお聞きください。

◆O.レスピーギ／組曲《シバの女王 ベルクス》

原曲は1931年にO.レスピーギが最後に手掛けたバレエ音楽で、その全曲は80分かかりバンダ付きの管弦楽に合唱、独唱まで入る大編成のためかほとんど定着しませんでした。1934年に作曲者自身が4部構成の組曲に編曲し、演奏されるようになりました。特に大阪市音楽団の指揮を長く勤めた木村吉宏の編曲した吹奏楽版は、世界中の吹奏楽団で演奏され、日本では、吹奏楽コンクール自由曲の超人気曲として多くの団体がチャレンジしてきました。

イスラエル統一の英雄ダビデ王の息子、ソロモン王は、軍事から政治、文学など全てにおいて非の打ち所がなく「叡智の王」と称されていました。シバ王国の女王ベルクスは噂に高いソロモン王の叡智を試そうと問いを抱いて王の前に出向きます。王は見事に質問に答え、2人は恋におち、両国は連合を結ぶことになりました。O.レスピーギは、このソロモン王とベルクス女王の逸話をバレエ音楽にしました。本日は、組曲全四部構成のうち第一曲と第四曲を2曲続けて演奏いたします。ぜひともこのエキゾチックな世界観を感じてください。

第一曲 <ソロモンの夢>物憂げな冒頭の調べが薄明かりにまどろむソロモン王を表し、木管楽器による異国情緒たっぷりの旋律で遠来するベルクス女王が表現されています。高音の金管が2人の出会いを祝福し、最後に4曲で取り上げられる愛のテーマとも言える主題が静かに奏でられます。

第二曲<ベルクスの踊り>朝目覚めたベルクスがベールをまとい素足で踊る。エキゾチックで艶っぽい響きが見事に詩情を誘います。

第三曲<戦いの踊り>ソロモン王のベルクス女王を歓待する宴の余興の曲です。戦士や屈強な男たちが勇壮に踊ります。激しいリズムと金管の咆哮が交錯します。

第四曲<饗宴の踊り>バレエではフィナーレで、登場人物全員で楽しく激しく踊り狂う無礼講の大宴会のシーンです。主題が執拗に続き、恍惚感を醸し出す金管の響きのあと、緊張感のある打楽器に導かれて王と女王が登場し、人々の熱烈な歓迎のもとに第一曲で提示された愛のテーマが奏でられ、大団円で幕を閉じます。

◆森田一浩 編曲／《タンゴ・ア・ラ・カルト》

1972年からリリースを続ける吹奏楽ポップスの大人気シリーズ「ニュー・サウンズ・イン・プラス」。タンゴ・ア・ラ・カルトは森田一浩によって吹奏楽向けにアレンジされ1988年に第16集の中に収録している曲です。ヨーロッパ諸国で演奏されてきたコンチネンタルタンゴ。本場アルゼンチンのものと比べると優雅で美しい旋律が特徴です。名曲ぞろいの中より今日は、碧空（J.Rixner作曲特にアルフレッド・ハウゼ楽団によるカバーが有名です）、淡き光に（E.Donato作曲 歌詞もつけられており日本では胃腸薬のCMに使用されたこともありました）、エル・チョコロ（A. Villolledo 作曲 題名はスペイン語でトウモロコシの意味。知名度が高い曲で世界中の楽団でさまざまに解釈されています）、ジェラシー（J. Gade 作曲 コンチネンタルタンゴの中で一番の人気曲。ドラマチックで情熱的な一曲です）の4曲をメドレーでお送りいたします。洗練されたスピード感のあるタンゴのリズムと情熱溢れる旋律をお楽しみください。

◆岩井直溥 編曲／《ビッグバンド・ショーケース》

ビッグバンドの名曲の美しい所を贅沢に取り出して岩井直溥がメドレーに仕立てたニュー・サウンズ・イン・プラス2008年の作品です。使用曲は、いずれも1930年から40年代初めにかけて絶大な人気を誇った曲ばかりです。

レッツダンス（G. Ston作曲 ベニー・グッドマン楽団の演奏でも有名。もちろんクラリネットのソロが入ります）、アム ゲッティング センチメンタル オーバー ユー（G.Bassman作曲 知る人ぞ知るトミー・ドーシー楽団のテーマ曲。当団のトミー？のソロをお聞きください。）、チリビリン（イタリア民謡をもとにフランク・シナトラ等が歌にしたジャズナンバー。今日はトランペットのソロにてどうぞ）、ブルーフレーム（J. Nobl作曲 ウッディ・ハーマン楽団のテーマ曲。ソロはウッディばり？！のクラリネット）、インドの歌（R.Korsakov作曲 歌劇「サトコ」で歌われるアリアをトミー・ドーシー楽団がスウィングジャズにアレンジ。再び当団のトミー？がチャレンジいたします）、シング シング シング（L.Prima作曲 いわずと知れたジャズのスタンダードナンバー クラリネットのソロといえばこれ！）、ムーンライト作曲 セレナーデ（G.Miller作曲 スウィングジャズの代表曲。グレン・ミラー楽団のバンドテーマ）、A列車で行こう（B.Strayhorn作曲 良いジャズを聴きたいならAと書いてある電車でハーレム地区へ行こうという意味 エリントン楽団のテーマ）、以上8曲を演奏いたします。

◆S.フェルヘルスト／《トロンボーンと吹奏楽のためのシェナンドー》

シェナンドーは19世紀から歌われているアメリカの民謡で、時代によりさまざまな歌詞が記録されており諸説あります。本日の演奏は、「貿易商としてミズーリ川上流の地に留まった若者がインディアンの酋長の娘と恋におちる。酋長（シェナンドー）から大切にもてなされた若者だったが娘を連れてひっそりと土地を離れていた。年月が過ぎ若者は酋長やその土地を振り返り懐かしみ感謝の気持ちを捧ぐ。」イメージを採用しています。フェルヘルスト版のシェナンドーの楽譜は発売されておらず、直接交渉して取り寄せることになりました。日本初演になるかと思えます。そこで私達はシェナンドーの旋律を郷愁と豊かな大自然への畏怖としてトロンボーンソロと吹奏楽の伴奏で表現できるように取り組んで参りました。本日初演できますことの喜びもひとしおであります。ソリストの思いが皆様のところに届きますことを願います。

◆岩井直溥 編曲／《サウンド・オブ・ミュージック・メドレー》

日本人が最も愛したミュージカル作品ともいわれるサウンド・オブ・ミュージック。第二次世界大戦直前、ナチスの占領下のオーストリアで、歌と家族愛にて人々を励まし続けてきたトラップ・ファミリー合唱団の実話と、それに基づいたドイツ映画を原作にしています。岩井直溥は1979年にニュー・サウンズ・イン・プラスにて吹奏楽メドレーとして編曲発表いたしました。色あせることのない数々の名曲の中からサウンド・オブ・ミュージック、ドレミの歌、ひとりぼっちの羊飼、さようなら ごきげんよう、エーデルワイス、すべての山に登れ、（R.Rodgers作曲）の6曲をメドレーにてお送りします。



program

◆第一部◆

序曲《春の猟犬》

／A. リード

喜歌劇「メリー・ウィドウ」よりヴィリアの歌

／F. レハール作曲 A. リード 編曲

組曲「シバの女王ベルキス」より

／O. レスピーギ作曲 鈴木栄一編曲

◆第二部◆

Raise of the Son

／R. ガランテ 作曲

タンゴ・ア・ラ・カルト

／森田一浩 編曲

ビックバンド・ショー・ケース

／岩井直溥 編曲

ボレロ

／M. ラヴェル作曲 岩井直溥編曲

◆第三部◆

オーメンズ・オブ・ラブ

／和泉宏隆作曲 真島俊夫編曲

Shenandoah for Bass Trombone & Wind Band

／アメリカ民謡 S. フェルヘルスト編曲

Soloist : 藤原祐介 (Trb.)

サウンド・オブ・ミュージック・メドレー

／R. ロジャーズ作曲 岩井直溥編曲

エル・クンバンチェロ

／R. エルナンデス作曲 岩井直溥編曲

